

オンライン研究発表会

校長 吉田 隆

昨年度末、新潟小学校は国研（国立教育政策研究所）のESD（持続可能な開発のための教育）の研究指定を受けることが決まりました。

程なくして、新型コロナウイルスの感染が広がり、国研は全国の研究指定校に対して、指定を辞退してもよいという通知を出しました。しかし、持続可能な社会を創る教育を推進しようとする我々が、ここで断念してはならない！と覚悟を決め、研究指定を継続することにしました。

どうすれば研究会を開催できるのか？コロナ禍において可能な方法を模索する日々がスタートしました。

試行錯誤の末、十一月二十八日に、オンライン方式での研究会を実施する運びとなりました。授業は研究会の十日ほど前に行い、その授業VTRを、事前にインターネットを介して参加者に限定配信。研究会当日は、研究概要の発表、授業協議会、講師からの全体指導などを、Zoomを用いて行いました。

こうしてオンライン方式に踏み切ったことにより、物理的な距離を克服し、県外は勿論、オーストラリア・パースやバンコクなど海外日本人学校からも参加いただきました。グローバルに学

び合えたことは、コロナ禍に生まれた未来につながる大きなチャンスです。

参加者からは忌憚のないご意見をいただき、授業改善につながる知見を得ることができました。また、地域を知り、地域をより良くしようとして協働して学び合う子どもたちの姿にも、賞賛をいただきました。

そして、指導者の文部科学省教育課程調査官の小倉勝登様や國學院大学教授の田村学様からは、ESD推進のポイントや教育課程への反映の仕方、さらに、当校の研究に対する高い評価とともに、二次研究へのヒントをいただくことができました。

研究会後、Zoomで参加された学校評議員の一人から次のようなメールをいただきました。

「〜前略〜やはり、新潟小学校の先生方がとても素晴らしかったです。本年度は行わなくてしようがないと言われていた研究発表会を、通常以上に完璧にこなされたのですから。内容も素晴らしい、子どもたちのために沢山の成長を与えていただいているのが分かりました。〜後略〜」

今後、現状に留まることなく未来を見据えて、職員一丸で取り組んでまいります。